

## MZプラットフォーム講習会

### 【開催趣旨】

産総研では、ものづくり中小企業のIT化を進めるため、プログラミング言語を知らなくても設計・製造業務を支援するシステムを開発できるソフトウェアとして、「MZプラットフォーム」を開発し、多くの企業でご活用いただいております。「MZプラットフォーム」はコンポーネントと呼ばれるソフトウェア部品を、あたかもレゴブロックのように画面上で配置・組み合わせることで、コンピュータによる各種管理業務を簡単にかつ安価に実現できるソフトウェアシステムです。

(MZプラットフォーム導入事例紹介動画URL: <https://ssl.monozukuri.org/mzplatform/>)

このソフトウェアシステム「MZプラットフォーム」の利用方法の説明と講習会を、産業技術総合研究所四国センターで開催いたします。この機会にぜひご参加いただき、「MZプラットフォーム」のご活用をご検討下さい。

なお、各位、ノートPCをご持参頂けますようお願いいたします。

また、PCをご持参頂ける方は6月29日の講習会開始前に、MZプラットフォームのソフトウェアをインストールしますので、30分ほど早めに来所頂けますようお願いいたします。

【日 時】 平成29年6月29日(木) 11:00～17:00 標準講習(初級編)  
平成29年6月30日(金) 9:00～16:00 標準講習(中上級編)

【会 場】 産総研四国センター 講堂 (〒761-0395 香川県高松市林町2217-14)

【参加費】 無料

【お申込み】 FAX、E-mail

### 【問い合わせ先】

産総研四国センター産学官連携推進室

TEL : 087-869-3530 FAX : 087-869-3554

E-mail : [shikoku-event-ml@aist.go.jp](mailto:shikoku-event-ml@aist.go.jp)

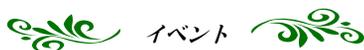
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

AIST四国

検索

CLICK!!

<http://www.aist.go.jp/shikoku/>



## 第101回「高松5：30クラブ」

### 【開催趣旨】

地域を元気にする意欲に燃えた人が集まり、肩書き抜きで交流する場、普段なかなか知り合えないような人が一同に集まり、ネットワークの輪を広げる場として「高松5：30クラブ」を開催しています。多くの方々の交流の場となるよう、皆様のお知り合いの方にも広くお声をかけて頂きますようお願いいたします。

<前ページから>

【日 時】平成29年7月10日(月) 第1部(講演会)16:00～17:15 第2部(交流会)17:30～

【会 場】高松商工会議所会館 大ホール(2階) (〒760-0017 高松市番町2-2-2)

【参加費】1,000円

【お申込み】オンライン登録(下記URLより(締切:6月28日(水)))

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>

【事務局:7機関】

四国経済連合会、高松商工会議所、香川大学、香川経済同友会、産総研四国センター、四国経済産業局、  
四国産業・技術振興センター

【問い合わせ先】

一般財団法人 四国産業・技術振興センター

TEL : 087-851-7025 FAX : 087-851-7027

E-mail : [step@tri-step.or.jp](mailto:step@tri-step.or.jp)

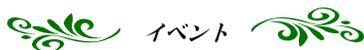
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

高松5:30クラブ

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>



イベント

## ヘルスケア・イノベーション・フォーラム 第28回事例研究部会・第22回治験IT化部会

【日 時】平成29年7月13日(木) 13:00～17:30

【会 場】産総研 臨海副都心センター 別館11F 第一会議室  
(〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26)

【お申込み】FAX、E-mail(締切:6月30日(金))

【プログラム】

○第1部 第28回事例研究部会

・「JICA新プロジェクト:妊産婦・新生児死亡の予防を目的とした救急時の移動式胎児心拍計導入と産科一次スクリーニング診断導入と一次医療人材育成による周産期死亡改善事業とブチCTG開発に関して」(仮)(メロディ・インターナショナル株式会社 CEO 尾形 優子 氏)

・「SCOPE採択研究テーマ:血圧波形を用いた心房細動診断プログラム新規開発とICTネットワークによる脳梗塞地域予防体制の確立」(仮)(香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授 原 量宏 氏)

<前ページから>

- ・「Durantaで得られた心電図波形をMFERで送信、他の心拍数情報と比較できる基本的なネットワークシステム構築へ向けて」(仮) (株式会社 イメージ ワン 営業企画グループ 統括マネージャー 岡庭 貴志 氏)
- ・「EHR/PHRとK-MIXの連携:在宅から血圧、SPO2等のバイタルデータをK-MIXの多目的サーバに送る介護システムとの連携への取り組み」(仮) (株式会社ヘルスケアリレイションズ 商品企画チーム チームマネージャ 北村 有岐 氏)
- ・「地域包括ケアにおけるV-CUBEミーティングの活用」(株式会社ブイキューブ 遠隔医療推進担当 大穂 照久 氏)
- ・「NPO法人 医療福祉クラウド協会(MeWCA)より」(仮) (NPO法人 医療福祉クラウド協会)
- ・「フィルム近接センサによる離床/呼吸監視システム～モノの蔭からさりげなく見守る人感センサ～に関して」(産総研 フレキシブルエレクトロニクス研究センター 知能システム研究部門 野村 健一)

## ○第2部 第22回治験IT化部会

- ・「香川におけるK-MIXをベースとしたRemote SDVの準備段階について」(仮) (渡辺 敏彦氏)
- ・「臨床研究プロジェクトANAFIEに関して」(仮) (第一三共株式会社 メディカルアフェアーズ本部 メディカルサイエンス部 エドキサバングループ 鍋木 淳平氏)

【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

HCIF

検索

CLICK!!

<http://healthcare-innovation-forum.jp/>



出版物紹介



## 100歳を健康に生きる技術シーズ集を改訂いたしました

このたび、弊所の健康工学研究部門が発行している「100歳を健康に生きる技術シーズ集」を改訂いたしました。とりまとめたシーズ集は同部門で得られた最近の成果を中心に、比較的産業応用に近い技術を選び、企業研究者や経営層の方々は勿論、一般の方にもわかりやすく作成いたしました。是非、広くご活用いただくことをお願い申し上げます。

百歳を健康に生きる  
技術シーズ集

平成27年10月1日

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
健康工学研究部門

【下記ホームページからご覧下さい】

hri 技術シーズ

検索

CLICK!!

<https://unit.aist.go.jp/hri/information/seeds/>



## 産総研の最近の主な研究成果 (平成29年5月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2017/05/10>

### 日本全国のウェブ地質図を完全リニューアル —新区分による高精細20万分の1日本シームレス地質図が完成—

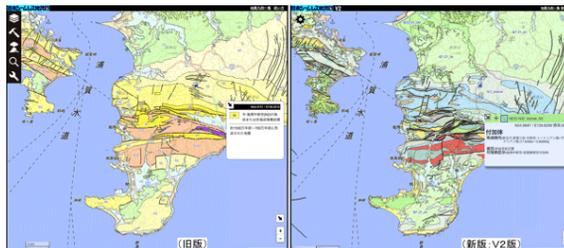
#### 【ポイント】

- ・新しい知見を基に、従来の「20万分の1日本シームレス地質図」を全国すべて見直して再編さん
- ・この四半世紀の研究の進展を反映させた新凡例は、凡例数が従来の386から2400超へ高精細化
- ・凡例を階層構造化したことで、目的や用途に応じた柔軟な表示が可能に

#### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20170510/pr20170510.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20170510/pr20170510.html)

(地質情報研究部門)



<発表・掲載日：2017/05/11>

### 元禄型関東地震の再来間隔、最短2000年ではなく500年

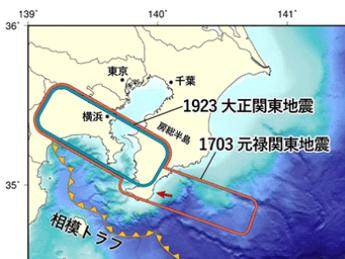
#### 【ポイント】

- ・房総半島南部千倉地域でちゅう密な地質・地形調査を行い、元禄型関東地震(マグニチュード 8クラス)による隆起運動が、過去約6300年で少なくとも5回、最短で500年の間隔で起こっていたことを発見。
- ・元禄型関東地震の繰り返し間隔は、従来では平均約2300年間隔とされていたが、今回の調査でより短くばらつきが大きいという結果が得られた。
- ・国が実施する地震活動の長期評価で参照した地震履歴を更新し、将来の発生予測の見直しを迫る成果。今後、より広範囲での調査から首都圏に影響する巨大地震の過去の発生パターンを解明する。

#### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20170511/pr20170511.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20170511/pr20170511.html)

(活断層・火山研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2017/05/11>

## 次世代有機EL用発光材料の発光メカニズムの謎を解明！

—有機ELデバイスの高効率化を目指して—

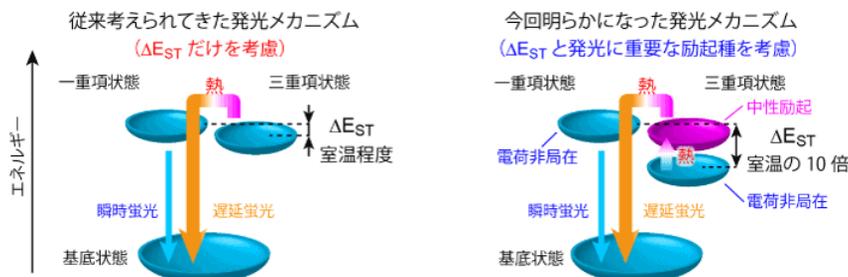
### 【ポイント】

- ・次世代有機EL材料（熱活性化遅延蛍光分子）の発光メカニズムを先端分光技術で解明
- ・分子の励起状態や種類、エネルギーに着目し、高い発光効率の分子構造を発見
- ・次世代有機EL材料の新しい設計指針として貢献、低コスト・高効率な有機ELデバイスの実現に期待

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20170511\\_2/pr20170511\\_2.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20170511_2/pr20170511_2.html)

（分析計測標準研究部門）



<発表・掲載日：2017/05/16>

## 不揮発性磁気メモリ—MRAMの3次元積層プロセスを開発

—新世代単結晶MRAM製造の可能性を拓く—

### 【ポイント】

- ・MRAMの3次元積層プロセス技術を初めて実現
- ・3次元積層プロセスによるMRAM動作特性の劣化が無いことを実証
- ・単結晶薄膜の使用によるMRAMの超高性能化の可能性を拓く

### 【詳細はこちら】

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/press\\_release/pr2017/pr20170516/pr20170516.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2017/pr20170516/pr20170516.html)

（スピントロニクス研究センター、集積マイクロシステム研究センター、ナノエレクトロニクス研究部門）

